

胎児診断に関する全国調査について

日本周産期・新生児医学会、周産期学シンポジウム運営委員会では、下記の研究を行っております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の間合せ先までご連絡ください。

研究課題名	胎児診断に関する全国調査(No 2018-1)
研究責任者	日本周産期・新生児医学会 周産期学シンポジウム運営委員会 渡部晋一 (倉敷中央病院総合周産期母子医療センター)
研究目的	<p>第 37 回周産期学シンポジウムでは「胎児診断から始める治療戦略」をテーマとし、予後改善を目指した胎児診断と胎児・新生児治療に関する演題を予定している。近年、超音波検査や MRI などの進歩により、多くの先天性疾患が胎児診断（出生前診断）されるようになった。正確な胎児診断・評価は、産科、新生児科、新生児外科、そして麻酔科等が関わり、分娩時期・方法、出生後の管理方針を検討することにより、胎児・新生児期の一貫した集学医療が可能となり、予後の改善が期待される。</p> <p>そこで、全国の日本周産期・新生児医学会、周産期専門研修認定施設（基幹・指定）を対象に、胎児疾患のスクリーニングや診断体制・治療についての状況を調査することとした。</p>
研究対象	日本周産期・新生児医学会の周産期専門研修認定施設（基幹・指定）の代表指導医。
研究方法	アンケート用紙を代表指導医宛てにメールし、Web 回答サイトで回答。
調査項目	当該施設における胎児疾患に関するスクリーニング、診断体制、治療等。
個人情報の取扱い	個別の患者に対する治療方針ではなく、施設ごとのスクリーニング、診断体制、治療に関する状況を問い合わせる調査である。個人情報を求める調査では無い。個別の内容については各施設で暗号化される。
研究期間	2018年9月10日～2019年2月8日
本研究の資金源 (利益相反)	本研究は、周産期学シンポジウム運営委員会の予算により施行するため、利益相反状態にはない。
間合せ先	日本周産期・新生児医学会 周産期学シンポジウム運営委員会 研究責任者 渡部晋一 電話 03-5228-2074/FAX 03-5228-2104